

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物及び什器備品・・・定額法による減価償却を実施しています。

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金

未収金等の貸倒損失に備えるため、期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上しています。

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額のうち、中小企業退職金共済掛金からの給付額を控除した金額を計上しています。なお、退職給付債務は職員退職金支給規程の期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

(3) 消費税の会計処理は、税込方式によっておこなっています。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	1,679,400	863,364	0	2,542,764
減価償却引当資産	6,406,914		5,019,289	1,387,625
財政運営資金積立資産	15,000,000	0	0	15,000,000
退職給付積立資産	0	0	0	0
合 計	23,086,314	863,364	5,019,289	18,930,389

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	2,542,764	0	0	(2,542,764)
減価償却引当資産	1,387,625	0	(1,387,625)	0
財政運営資金積立資産	15,000,000	0	(15,000,000)	0
退職給付積立資産	0	0	(0)	0
合 計	18,930,389	0	(16,387,625)	(2,542,764)

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
市補助金	昭島市	0	41,000,000	41,000,000	0	—
連合交付金 (国庫補助金)	(公財)東京し ごと財団	0	7,729,000	7,729,000	0	—
高齢者活用・ 現役世代雇用 サポート事業 (国庫補助 金)	(公財)東京し ごと財団	0	6,650,000	6,650,000	0	—
自動車安全装 置助成金	(公財)東京し ごと財団	0	0	0	0	—
合 計		0	55,379,000	55,379,000	0	—

5 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

退職一時金制度、中小企業退職金共済制度を併用しております。

(2) 退職給付債務に関する事項

①退職給付債務	2,542,764円
②退職給付引当金	2,542,764円

(3) 退職給付費用に計上した額は以下のとおりです。

①退職給付引当金繰入額	953,804円
②中小企業退職金共済掛金	240,000円
③全国シルバー人材センター企業年金基金掛金	874,260円
④定年退職に伴う退職金支払い	0円
⑤退職給付費用	2,068,064円

附属明細書

1 特定資産の明細

特定資産について、財務諸表の注記特定資産の増減額及びその残高に記載しているため記載を省略します。

2 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	193,436	317,873	0	193,436	317,873
退職給付引当金	1,679,400	863,364	0	0	2,542,764

貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替処理によるものです。